



たなか あいな
田中 愛那

鳥取市立河原中学校 教諭

地域学部卒業

姫路市立姫路高等学校卒業

教員を目指したきっかけ：

中学3年生の時に担任していただいていた先生へのあこがれ。将来の夢を教員1本に絞る自信がなく、教育大学に行くことに迷いがありました。それで、専門分野を学びながら教職を取ることができる鳥取大学工学部に入学しました。広い教養を身に付けることができましたし、子どもたちに工学部で学ぶおもしろさを伝えられるのも私の強みだと思います。私は兵庫県出身ですが、学生時代のアルバイト経験を通して、鳥取の人の穏やかでやさしく、のんびりした性格に触れ、「こんな環境なら、教員として頑張れそう。」と思い、鳥取で教員になることを決めました。また、新人教員を大事に育ててくれる鳥取県の取り組みを知ったこともきっかけのひとつです。

教員になってよかったこと：

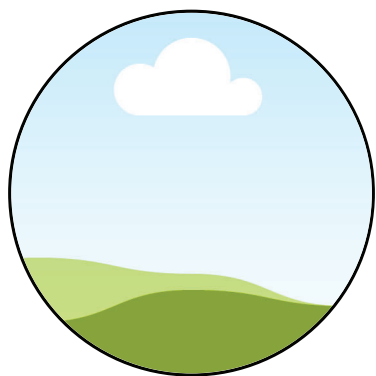
自分が担任している中で、自分が伝えたいことを理解してくれたり気づいてくれた時にとっても嬉しく感じます。できるようになったことや、わかることが増えていく成長の過程を近くで見ることができるところも先生の魅力だと思います。自分の中でも気づけなかった、人として大事にしたいことを改めて実感し、自分も成長して学ぶことがたくさんあります。

鳥取大学で教職を学んでよかったこと：

教員養成センターと一緒に教員を目指す仲間に出会えたこと。今も研修で会ったり、ご飯に行ったり近況を話したりします。工学部で数学の知識を深めながらも、教育についての学びもできて、幅広いことを勉強し、たくさんの人と出会えたところです。

教員を志望する後輩たちに伝えたいこと：

教育関係だけでなく、自分のやりたいことや興味のあることにたくさん挑戦し、いろんな経験しておくことが大事だと思います。実体験を持っておくと、自分の見る視野が広がるきっかけができます。また、素直にいろんな人の話や考えを聞いて知り、自分の考えを深めていったりしながら、またさらにチャレンジしていこうという学び続ける姿勢で頑張りたいと思っています。中学生という貴重な時間を一緒に共有して過ごすことができる一瞬一瞬が見逃すことができないもので毎日がかけがえのないものです。大変なこともありますが、そんなすてきなところがたくさんあるのは教員という仕事の魅力だと日々感じているところです。



ながはま たき
長濱 亜紀

鳥取市立高草中学校 教諭

地域学部卒業

兵庫県立姫路西高等学校卒業

教員を目指したきっかけ：

大学生時代に子どもたちと関わるボランティアや学童でのスタッフを通して、子どもたちと一緒に時間を過ごすことがとても楽しくおもしろいなと感じたからです。また、大学の4年間で自分自身の学年が上がると同時に、子どもたちも学年が上がり大きくなっていて、大学生ながらも子どもたちの成長していく姿が見えたことが嬉しかったです。

教員になってよかったこと：

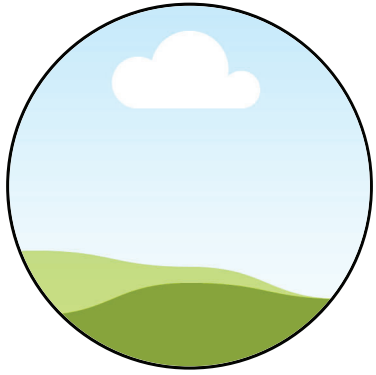
経験も浅く教員としては未熟ですが、子どもたちが自分の関わりや声かけで前向きな気持ちになれたり、授業のこんなところが楽しかったです！とコメントを書いてくれたり、微力ながらも子どもたちに何か届けることができたと感じる出来事があった時には本当に嬉しく思います。そして、私が子どもたちに何かを届けているだけではなく、逆に子どもたちの方から元気をもらったり、大切なことに気づかせてもらったりと受け取ることもたくさんあります。今後もお互いに成長し合える関係でありたいと思っています。

鳥取大学で教職をとってよかったこと：

私は人間形成コース(教育系コース)の所属ではありませんでしたが、自分が興味を持っていた国際地域文化コースで様々な科目を履修しながら、教職に必要な科目も並行して履修することができました。また、教育実習では鳥取大学附属中学校に行き、そこで多くの先生方にお世話になり、先生方とのつながりができたことが嬉しかったです。私は兵庫県出身のため、鳥取県で教員をされている方とのつながりがほとんどありませんでした。しかし、教育実習を通してお世話になった先生方と今でも連絡を取り合い、先輩教員として助けて下さっていて、出逢いに感謝しています。加えて、鳥取大学では現役教員の方の話が聞ける「学び・遊び・つながり」プロジェクトがあり、とても魅力的でした。

後輩に伝えたいこと：

学生時代に自分の興味があることややってみたいことに挑戦して自分の可能性を広げてほしいです。学生時代にしかできない経験もきっとたくさんあると思います。大学生とはいえ様々な制約があると思いますが、お金では買えない経験をして、なりたい自分を見つけて下さい！自分が経験してきたことは、誰かに説得力のあるものとして伝えることができ、自分の大きな強みになります。学生時代を楽しんでください！



ますだ しょうた
増田 翔太

鳥取市立北中学校 教諭

工学部卒業

鳥取県立鳥取西高等学校卒業

教員を目指したきっかけ：

小さい頃から数字が好きで、算数・数学の授業がとても得意でした。自分の好きな算数・数学を活かすことができる仕事をしたいと思っていました。また、私が小中学生の頃にお世話になった先生の教え方や生徒たちを導く姿を見て、自分もこんな大人になりたいと思うようになり、数学の教員を目指しました。

教員になってよかったこと：

教科以外にも、ICT機器の使い方や生徒会活動などの分掌業務で自分の得意分野を活かすことができているところです。また、生徒の成長を見届けるところができることです。

鳥取大学で教職を学んでよかったこと：

工学部の専門的な数学・物理と教職についてのカリキュラムを同時に学ぶことができたことです。特に工学の分野で実際に活用されている数学を学んだことで、小中学校で数学を学ぶ意味を実感することができたからです。また、教育実習や実際の教員による講義を通して、大学生でも教職について身近に感じられることです。

教員を志望する後輩たちに伝えたいこと：

附属中学校での教育実習では、熱心な生徒が多く、また指導教員と授業計画について話す時間も充実しており、教材研究に向き合えました。実際に教員になると、教材についてじっくり研究する時間が思ったより確保できません。学習指導要領が変わり、自分自身が小中高で学習してきた内容とは異なることもあるので、教科の専門的な知識をしっかり勉強しておいたほうがいいと思います。

最初は分からないことだらけでしたが、周りの先生方が丁寧にサポートしていただいて、働くことができている。コミュニケーションをとることがとても大切です。困ったことはすぐに相談しましょう。